

# 常なる磐

つねなる いわ season II

令和 4年 2月10日(木)

その4

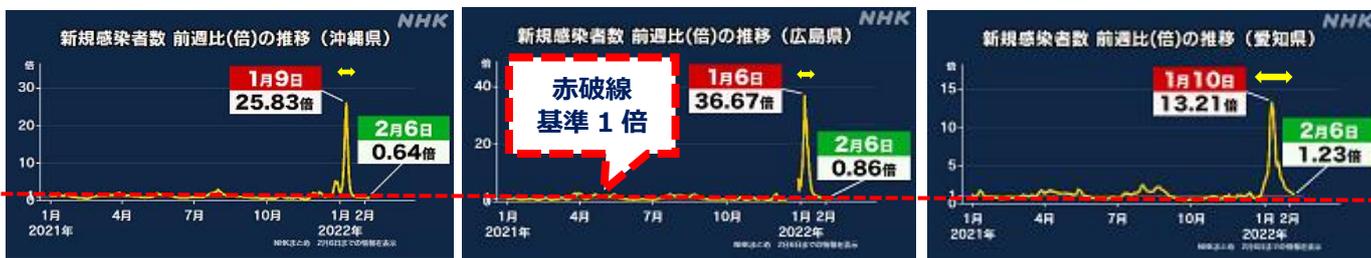
## ◇ データで見る「岡崎市の新型コロナウイルス感染症」④

東京都や大阪府、そして愛知県等の感染者数の急増が大きく報じられる中、これらの都府県に先んじて1月9日に「まん延防止重点措置」が発出された沖縄県や山口県、広島県(※愛知県の地域指定発出は、1月21日)の話はほとんど聞くことがなくなった。報道される感染者の数値を見ても、かなり落ち着いてきたことが分かる。

NHKの興味深い報道を見つけた。この報道をもとに愛知県の今後を分析する。

先月9日、ことしに入って初めてまん延防止等重点措置が適用された沖縄、広島、山口の3県では適用される直前、感染の急拡大がみられた先月初旬から夜間の繁華街の人出が大きく減少しました。

また、1週間の新規感染者数は3県では、まん延防止等重点措置が適用された先月9日ごろには、沖縄県では前の週に比べて25.83倍(1/9)、広島県で36.67倍(1/6)、山口県で14.30倍(1/6)と過去に例のない急激な感染拡大となっていました。その後、感染の減少傾向が、沖縄県では1月20日ごろ、広島県、山口県では今月初めごろからみられるようになりました。6日時点では、沖縄県で前の週の0.64倍、広島県で0.86倍、山口県で0.84倍と減少傾向は続いています。急拡大した局面と比べて感染が減るスピードは緩やかになっています。(後略)



折れ線グラフは、「感染者数の前週との比較倍数」で表しており、基準は赤破線…の「1」。赤破線を下回れば減少傾向、赤破線の上ならばまだ落ち着いていないことを表している。グラフが小さく、読み取りにくいいため解説を加えると、沖縄県、広島県とも倍数ピークからちょうど2週間後に基準の1となり、そこから2週間後に1を下回ってる。これはあくまでも仮説だが、「倍数ピークから1倍となった地点が第2の基準」で、この2週間後にやっと下り坂になるというのが自説だ。

一見したところ、愛知県のグラフも沖縄県や広島県と同じように見えることから、もうそろそろ落ち着くかと思いきや、この両県と愛知県では大きく異なる部分がある。グラフ山の上部に示した両方向矢印⇄(※倍率1倍を上回る期間)の幅である。愛知県のピークは両県と同時期。それから両県の倍以上の期間を要しても、まだ基準の1倍レベルにも達していない。基準を下回らなければ、感染者数は少なくとも横ばい。減少すらしていないのだ。いかに危険な状況が続いているかがわかる。

1倍になってから、さらに2週間。そう考えれば、愛知県の「まん延防止重点措置の延長」も理解できる。

PS:裏面に「子供が感染した時の対応 (NHK資料)」を掲載

※下の資料の他、多くの情報が得られます。

## お子さまが新型コロナウイルスに感染した際の対応について



### 1. 窓を開けて換気

定期的に換気をしましょう。  
共用スペースや他の部屋も頻繁に換気を行きましょう。



### 2. 可能な範囲で部屋を分ける

可能な範囲で部屋を分けましょう。  
部屋を分けられない場合は、仕切りやカーテンなどで工夫するなど、接触する時間をなるべく短くするよう心がけましょう。

### 3. 可能な範囲でマスクを着用

児童本人を含め、同居家族全員はできるだけマスクを着用しましょう。  
ただし、2歳未満のお子さまへのマスクの着用は、息が詰まるなどの危険があるのでやめましょう。



### 4. こまめな手洗い・幅広い消毒

こまめに石鹸で手洗いし頻繁に触れるものは消毒しましょう。  
テーブルや椅子、ドア、テレビやエアコンのリモコン、トイレ（便座など）、おもちゃ、文房具などは幅広く消毒しましょう。

### 5. 洗濯・掃除

着衣の交換・洗濯、清掃等を徹底しましょう。  
洗濯は通常の洗剤を用い、特別な対応は不要です。



### 6. ゴミは密閉して捨てましょう

室外に出すときは密閉して捨てましょう。  
鼻をかんだティッシュ等は、すぐに2重のビニル袋で密閉し捨てましょう。手洗いも忘れずに。



#### ☑お子さんの観察ポイント

・ご機嫌、食欲、顔色、呼吸のようすなどを観察してください。ご機嫌がよく、食欲があり、顔色が普通であれば基本的に心配いりません。

・意識がはっきりしない、機嫌が悪い、食欲が低下している、水分がとれない、顔色が悪い、息苦しそう、嘔吐を繰り返すなどの場合は担当保健所、またはかかりつけ医に早めにご相談ください。

#### ☑お世話は出来る限り、限られた方で対応しましょう。

・自らの体調管理、体調不良の意思表示が十分にできないことに留意し、健康状態のチェックを入念に行いましょう。

#### ☑お世話をする方が感染した場合について。

・お子さまのお世話に関して相談したい場合は、自治体、保健所などに御連絡ください。

**ゼロ密を目指す、こまめな手洗い、正しいマスクの着用を徹底しましょう**



新型コロナウイルス  
感染症のために  
(厚生労働省HP)

